

05 静建土技第 880 号

令和 5 年 7 月 21 日

株式会社東海造成 様

静岡市長 難波 喬 司
(建設局土木部技術政策課)



令和 5 年度 盛土材（路床材・路体材）の使用承諾について（通知）

令和 5 年 4 月 6 日立会申請の提出がありました別紙盛土材について、静岡市が定める「盛土材料取扱基準」で規定する品質規格等に適合するので通知します。

なお、盛土材料使用承諾有効期限は 1 年（通年）とし、下記有効期限とします。また、工事現場に搬入される盛土材の品質は常に安定し、かつ基準に適合するものでなければなりません。品質に変化が生じた場合や、採取場を変更する場合には速やかに土質試験を行い、改めて承諾を得るようにしてください。

記

1. 材料品目

路床材、路体材：切込砕石（0-40）

路体材：山土（0-300）

2. 有効期限

令和 5 年 7 月 27 日から令和 6 年 7 月 26 日まで

盛土材一覽表

静岡市技術政策課
令和5年5月11日調査

地区 番号	会社名 土取場所在地	製品名称	粒度		塑性指数 (PI)		変状土 C B R (%)		最大 粒径 (mm)	最適含水比 (%) 自然含水比 (%)	最大乾燥密度 (g/cm ³) 絶対密度 (g/cm ³)	設計に 用いる CBR	備考
			路床材 4750 μm	路体材 75 μm/ 4750 μm	路床材 路体材	路体材 路体材	平均 標準偏差	試験の C B R 路体材					
216	株式会社 東海造成 静岡市駿河区丸子赤目ヶ谷地内	切込碎石 (0-40)	32.4	17.6	NP	NP	86.0 ~ 65.7	76.3	68.0	68.0	2.199	20.0	
							20.3	8.3				—	
216	株式会社 東海造成 静岡市駿河区丸子赤目ヶ谷地内	山土 (0-300)	-	25.0	-	21.9	80.0 ~ 23.9	51.2	-	24.3	2.090	20.0	
							56.1	26.9				2.56	

盛土材土質試験結果調査表

別紙 B

会社名：株式会社 東海造成

製品名称： 山土(0-300)

静岡市技術政策課

土取場所所在地： 静岡市駿河区丸子赤目ヶ谷地内

地区No.： 216

令和5年5月11日調査

項目	試料	令和4年7月						令和5年7月						備考
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
土質記号	G-FS	G-FS	G-FS	G-FS	G-FS	G-FS	G-FS	G-FS	G-FS	G-FS	G-FS	G-FS	G-FS	
粒度 4750 μm	%	31.8	31.4	34.8	15.4	14.9	18.1	15.4	14.9	14.9	18.1	15.4	14.9	24.4
75 μm	"	7.6	7.3	8.2	4.6	4.2	4.9	4.6	4.2	4.2	4.9	4.6	4.2	6.1
塑性指数	LL/PL	42.5/19.9	37.6/16.7	40.9/19.1	41.2/19.3	43.7/20.8	39.8/18.5	41.2/19.3	40.9/19.1	43.7/20.8	39.8/18.5	41.2/19.3	40.9/19.1	-
PI	PI	22.6	20.9	21.8	21.9	22.9	21.3	21.9	21.8	22.9	21.3	21.9	21.8	21.9
変状土 CBR	%	75.3	80.0	71.0	25.3	31.5	23.9	25.3	71.0	31.5	23.9	25.3	31.5	51.2
最大粒径	mm	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
自然含水比	%	4.9	4.9	5.3	4.1	4.4	4.0	4.1	5.3	4.4	4.0	4.1	4.4	4.6
最適含水比	"	6.8	7.5	6.6	6.3	6.1	6.9	6.3	6.6	6.1	6.9	6.3	6.1	6.7
最大乾燥密度(ρ dmax)	g/cm ³	2.191	2.194	2.187	1.988	1.985	1.994	1.988	2.187	1.985	1.994	1.988	1.985	2.090
ρ dmax × 0.95	"	2.081	2.084	2.078	1.889	1.886	1.894	1.889	2.078	1.886	1.894	1.889	1.886	1.985
ρ dmax × 0.90	"	1.972	1.975	1.968	1.789	1.787	1.795	1.789	1.968	1.787	1.795	1.789	1.787	1.881
粗骨材の絶対密度	"	2.55	2.52	2.57	2.53	2.57	2.59	2.53	2.57	2.57	2.59	2.53	2.57	2.56

説明

1. 土質試験結果をこの調査表に整理して調査を行う。

2. *50以下とは4750 μmフルイ通過試料に占める75 μmフルイ通過分の割合(%)

3. 変状土 CBR のデーター調査

イ. データーの範囲：最大値(MAX)～最小値(MIN)

ロ. 較差：MAX～MIN

ハ. 平均： $X = \sum Xi / N$

ニ. 標準偏差： $\sqrt{V} = \sqrt{(\sum (Xi - X)^2) / (N - 1)}$

ホ. 試料の CBR： $X - \sqrt{V}$

路体材：5 以下は不適

路体材：20 以下の場合には路体材としての使用のみ可能

4. 設計に用いる CBR

イ. 路体材については上限20.0%とする

ロ. 路体材については、試料の CBR 値が20%以下の場合はその値を採用し

20%以上の場合は20.0%とする

E法にて実施

試料の C B R：24.3

設計に用いる C B R：20.0

品質規格

路体材

○

平均

24.4

品質規格

路体材

25~100

品質規格

路体材

*50以下

品質規格

路体材

30以下

品質規格

路体材

5以上

品質規格

路体材

100以下

品質規格

路体材

300以下

品質規格

路体材

E法にて実施